

2018年度放課後等デイサービス事業者 自己評価 検討結果

事業所名: わんぱくクラブ三宿

検討日時: 2019年03月26日(火曜日)

	工夫している点	課題	改善目標
環境・体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 着替えの際は仕切りを設置し、見られることが無いようにしている。 靴を履くときはイスを出し、履きやすいように配慮している。 求職者への丁寧な説明・受入を行い、保育後の終礼でフィードバックをし、スタッフの確保・定着に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、小学生のみが在籍しているが、子どもたちの成長に伴い、スペースとして狭さを感じる。 雨天時の大人数での部屋遊びは閉塞感を感じる。 継続的に設置基準・加配基準を満たす人員配置を行うこと。 カームダウンが必要な子や、ケガなど緊急対応が必要な子が出た時に、十分なスペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> 労働環境の改善。求人採用の条件の見直しを行う。 大人数での部屋での遊び方を工夫する。
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> 毎日職員同士で話し合いの場を持っている。 月の目標、月のまとめ、週のまとめなどで、定期的に保育を振り返り、課題を抽出している。法人内の施設長会議で月のまとめやヒヤリハット報告書を共有している。 常勤職員は外部研修に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内での職員、アルバイトスタッフの資質向上を目的とした学習会・研修会の実施が十分にできていない。 アルバイトスタッフへの情報共有が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の学習会を計画的に行う。 常勤職員だけでなくアルバイトスタッフにも情報を共有する。
適切な支援の提供	<ul style="list-style-type: none"> 連絡ノートを来所時には必ず確認している。必要な情報は職員・アルバイトで共有している。丁寧に活動内容、その日の様子などを書くことで保護者との共通理解を行っている。→この内容は、下の「保護者との連携」にあたる 打ち合わせで、その日の活動予定をスタッフ間で確認する。また、個々の子どもの情報共有を行っている。活動予定は、ボードに記し、いつでも確認できるように壁に掲示している。保育後は、毎日終礼の時間を設け、保育の振り返りを行っている。 日々のおやつメニューを視覚化し、壁に掲示している。 お楽しみ会を週間でっており、多くの子ども達が参加できるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントの結果を保育スタッフ全体に十分に共有できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の記録を充実させ、記録を基にケーススタディを行う。 保育スタッフ全体で、子どもへの支援やプログラムについて検討する機会を設ける。 フェイスシートの作成を行う。
関係機関や保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> 学校の宿題を活動中に行えるようにしている。 半年に1回保護者と個別面談を行い、わんぱくの様子を伝えと共に、家庭や学校などでの様子を伺ったり、保育への要望を聞き取ったりしている。活動の記録を閲覧する機会を設けている。 保護者会を開催し、保育の近況や、運営で配慮していることなどについて全体に伝えている。 保護者との親睦会を通して、交流を進めている。 夏休みの保育に保護者に「1日指導員」としての参加を呼び掛けている。実際に保育に入ってもらうことで活動の様子や子どもの様子などを伝える機会としている。 施設のおたより「わんぱくだより」や、広報誌「わんぱくプレス」にて、保育の内容を報告している。 近隣の高齢者デイサービス事業所と季節の行事で交流を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部会議への参加・開催が不足している。 関係機関や地域との交流について、保護者への周知が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校公開や地域のイベントなどに進んで参加し、関係機関との連携を取れるようにする。 おたよりなどを通して、関係機関や地域との交流について、保護者などに周知する。
保護者への説明責任等	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に、契約書・重要事項説明書を基に、利用者負担金などについて説明をしている。 車輛利用に関して同意書を作成し、運用方法について同意を得ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時対応や感染症対応、運営方針について保護者全体への周知が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学期に1回保護者会を開催し、緊急時対応などの説明を行う。また、保護者の要望を聞き取る。 必要に応じて、面談を行い、要望などの聞き取りを行う。
非常時等の対応	<ul style="list-style-type: none"> 歩行の際には、常勤職員が列の前後につくなど、非常時を想定したスタッフ配置を行っている。 公園では、出入り口に職員を配置している。初めて行く公園は、下見した上で行く。 入会時や定期的に行うアレルギー・てんかん調査表に基づき、非常時の対応について把握している。 災害備蓄品を置いている。定期的に点検し、年間で予算を決めて購入している。 	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に避難訓練を行っていない。 常勤職員以外の保育スタッフへの非常時の対応について説明が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 火災・地震・不審者の3種類の避難訓練を計画する。 保育スタッフ全員でシミュレーションを行い、非常時等の共有理解を行う。